

Eignungsprüfstelle nach DIN 4109

Institut für Akustik und Bauphysik, Oberursel im Taunus

Professor Dr. Ernst-Joachim Völker
Dipl.-Ing. Wolfgang Teuber
Kiesweg 22
61440 Oberursel/Stierstadt
Tel. 06171/75031 Fax. 06171/85483
E-Mail : info@iab-oberursel.de
WWW : http://www.iab-oberursel.de

October 30th, 2002

(参考和訳)

本検査証

(耐火製品の遮音性能確認試験)

試験対象:

**CP670 ヒルティ ファイヤーストップ
セーフティボードシステム
(石膏ボード間仕切壁開口部への設置)**

DIN EN 20140 – 10基準 (建築物及び建材の遮音性の測定—建材の空気伝播遮音性を検査室にて測定)を満たすことを記す本検査証を授与する。

申請人:

ヒルティ社
Hiltistrasse 6
86916 Kaufering

有効期限:

2008年1月23日

本検査証番号.:

A 51642/3093

本試験報告書は2つの添付資料を含めた9枚で構成されている。

**Institut für Akustik und Bauphysik
(音響及び建築物理学研究機関)**

(Officially accredited Suitability and Quality Testing Laboratory)

Prof. Dr. Ernst-Jo. Völker
Institute Director

Dipl.-Ing. Wolfgang Teuber
Measurement & Technical Manager

本資料はドイツ語の原本を翻訳したもので、本検査証発行機関の検閲は受けていない。

一般条件

本検査証はファイヤーストップシステムの標準音響レベル測定を立証している。石膏ボード間仕切壁内開口部に設置された厚さ50 mmのヒルティセーフティボードを一重の枠組みで遮音試験を実施した。試験は DIN EN ISO 140-10:に従い、1992年9月に実施された。

本検査証は建築計画実施に向けて法的に要請される許可証、協定、証明書を代替するものではない。本検査証は第三者の権利、特に個人の保護権を侵害していない場合に授与される。

本検査証対象物の製造元及び卸業者は、工具使用者に必ず本検査証のコピーを提示しなくてはならない。

本検査証を複写する際は、一式全て複写すること。抜粋版の発行は本検査試験機関の許可を要する。広告資料の文章や図は本検査証と相反してはならない。

本検査証を翻訳する際は、“本資料はドイツ語の原本を翻訳したもので、本検査証発行機関の検閲を受けていない”と注記しなければならない。

本検査証は授与後に取消されることがある。本検査証規定は、最新技術の発見に伴い、補足や変更されることがある。

本検査証に記載された建材は 連邦制定した表示規定に従い、規定合致証明 (印) 及び規定順守表示(U-mark) を要する。

本検査証の取消し

本検査証は規定に合致しない場合、IABにより取消されることがある。取消しが適用されるのは、とりわけ建築構造設計や建材が変更され、試験・承認した基準と一致なくなった場合である。

試験対象の説明

試験されファイヤーストップシステムは石膏ボード間仕切壁面内(床面)の開口部を閉塞するために設計されている。1 mmの厚さで特別にコーティングした厚さ50 mm のロックウール保温板(w:600mm x h:500mm)を試験用に準備した。

試験用検査室(開口寸法620 mm x 520 mm)で検査を実施した。試験体概要は下記の通りである。

*ロックウール保温板の両面コーティング	$m' = 10,7 \text{ kg/m}^2$
*DIN EN 29053に従った規定の空気流抵抗, コーティングされたサンプル素材, 測定9回の平均値	$R_S > 10.000 \text{ Ns/m}^3$
*コーティングなしのロックウールへの規定空気流、測定9回の平均値	$R_S = 4733 \text{ Ns/m}^3$

図1 は、両面2重張りの石膏ボード張りの間仕切壁の開口部に設置されたセーフティボードシステム試験体の断面図を示している。両面をコーティングしたロックウール保温板を石膏ボード間仕切壁内開口部に接着させ、四周を耐火シーラントで充填した。四周はヒルティセーフティシーラントで密閉し、接着させた。

図2では、石膏ボード間仕切壁での開口部施工状況を示している。

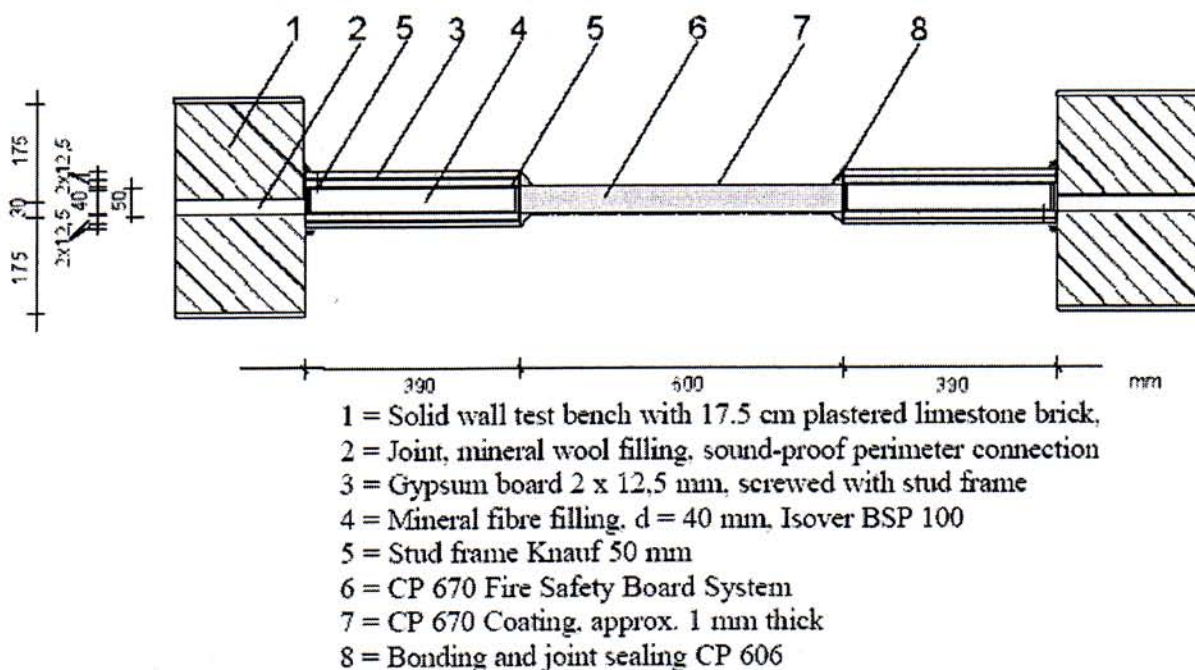


図1: 試験体の水平断面図

図中文章の翻訳:

- 1 = 17.5 cm の漆喰を塗装した石灰石レンガの試験壁台
- 2 = ジョイント部(ロックウール充填・四周防音処理)
- 3 = 軽量鉄骨下地にビス留めした石膏ボードt=12,5 mm 2重張り
- 4 = ロックウール保温板, d = 40 mm, Isover BSP 100
- 5 = 軽量鉄骨下地 Knauf 50 mm
- 6 = ヒルティセーフティボード
- 7 = 厚さ約1 mm の耐火コーティング
- 8 = 四周をセーフティシーラントで閉塞